

舗装の個別施設計画策定



平成29年3月



宮崎県国富町

元気・安心・安全な健康田園都市

目 次

1.舗装の現状と課題

- 1.1 管理道路の現状
- 1.2 舗装修繕予算の現状
- 1.3 舗装の現状

2.舗装の維持管理の基本的な考え方

- 2.1 舗装管理の基本方針
- 2.2 管理道路の分類（グループ分け）
- 2.3 管理基準
- 2.4 点検方法・点検頻度
- 2.5 使用目標年数（分類Bの道路）

3.計画期間

- 3.1 計画期間

4.対策の優先順位（補修計画の方針）

5.舗装の状態、対策内容、実施時期

- 5.1 診断結果
- 5.2 対策内容と実施時期

1.舗装の現状と課題

1.1 管理道路の現状

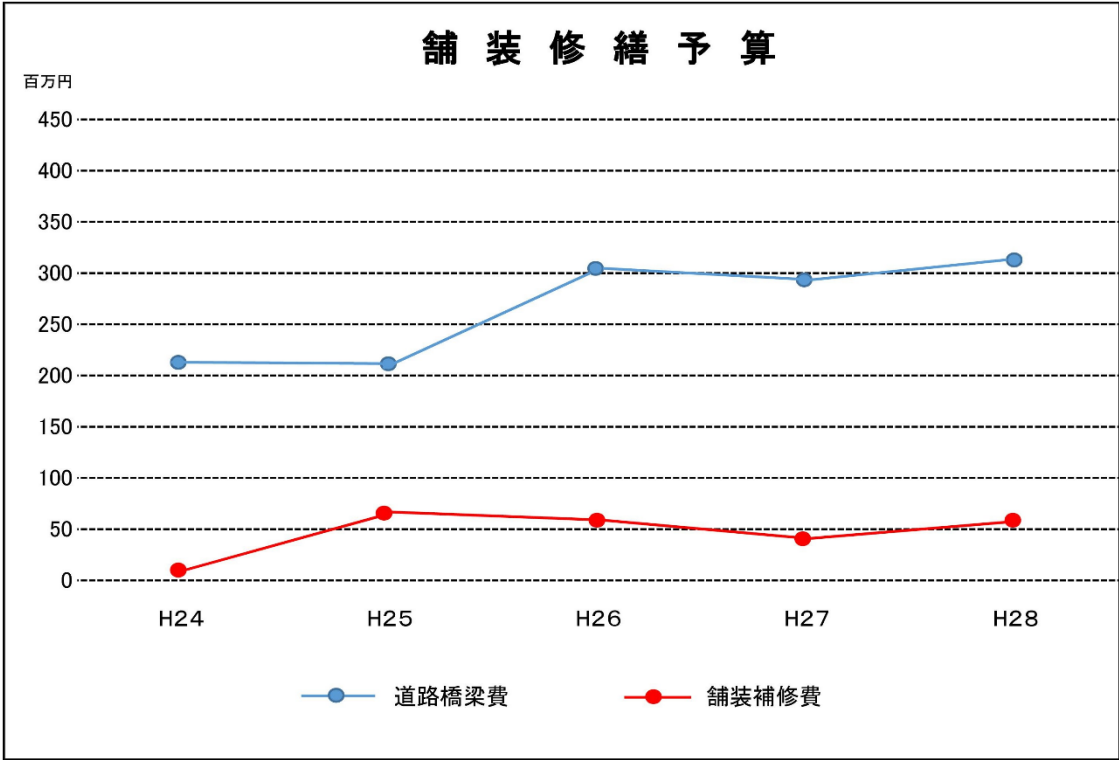
(1)管理延長と舗装延長

道路区分	管理延長	舗装延長		舗装率
		A s舗装	C o舗装	
1級町道	29.8km	29.3km	0.12km	98.9%
2級町道	42.2km	41.5km	0.72km	100.0%
その他町道	264.4km	257.0km	2.49km	98.2%
計	336.4km	327.8km	3.33km	98.4%

※A s舗装に簡易舗装は含まれる。

1.2 舗装修繕予算の現状

- 道路予算のうち舗装修繕予算は、平成25年度から社会資本総合交付金事業の導入により一時増加に転じましたが、以降はほぼ平行線を維持している状態です。



1.3 舗装の現状

・ 1・2級町道及びその他町道の重要路線 $L=336.4$ kmの内 $L=57.1$ kmについては、平成24年度から路面性状調査を実施しています。この調査で、約68.7%（約39.2 km）の道路で修繕が必要と判断され、調査結果に伴い補助事業による補修工事を平成24年度から平成28年度まで実施しています。（添付資料一路面性状調査及び補修工事完了位置図）

なお、この路面性状調査を実施した箇所は、全路線の一部ですがそれ以外の町道についても集落内の生活道路として修繕が必要な箇所もあり、その部分については職員によるパトロール等で点検を行い、簡易修繕を行っています。

2.舗装の維持管理の基本的な考え方

2.1 舗装管理の基本方針

- ・町道舗装の個別施設計画の策定にあたっては、診断結果を踏まえた適切な措置を行うことで、道路舗装の長寿命化や舗装の維持修繕費のライフサイクルコスト縮減を目指します。

2.2 管理道路の分類（グループ分け）

- ・大型車交通量、路線の重要度等を踏まえ分類

分類	対象道路
分類Cの道路	1級町道、2級町道
分類Dの道路	上記以外の道路

2.3 管理基準

- ・MCⅠ（0、0～5、0未満）を舗装補修対象とする。

※MCⅠとは、路面の評価（維持管理指数）のこと。評価区間毎に算出した『ひび割れ率』『わだち掘れ量』および『平たん性』を計算式に代入し、総合的に路面の評価をすること。

2.4 点検方法・点検頻度

	点検方法	点検頻度
分類Cの道路	目視点検	5年に1度
分類Dの道路	巡視の機会を通じた路面状況把握	

2.5 使用目標年数（分類B（損傷の進行が早い道路等）の道路）

- ・該当無し

3.計画期間

3.1 計画期間

- ・当該個別施設計画の計画期間は、5年とする。

4.対策の優先順位（補修計画の方針）

- ・舗装損傷状況、路線の重要性、交通量等を考慮し補修の優先順位を決定する。

5.舗装の状態、対策内容、実施時期

5.1 診断結果

- ・平成24年度から平成28年度までの5年間の路面性状測定車による点検を行った57.1kmの診断結果は以下のとおり

	区分Ⅰ	区分Ⅱ	区分Ⅲ		
				Ⅲ－1	Ⅲ－2
分類Cの道路	12.3km	7.2km	8.9km		
分類Dの道路	5.7km	12.4km	10.6km		

区分Ⅰ（健全－損傷レベル小）
区分Ⅱ（表層機能保持段階－損傷レベル中）
区分Ⅲ（補修段階－損傷レベル大）

5.2 対策内容と実施時期

- ・路面性状調査完了箇所については、調査結果に基づいて舗装の修繕が効率的に実施されるようにその損傷に最も適した対策方法・時期を決定します。また、今後も路面性状調査を続けていきながら、必要に応じて事業を導入し引き続き修繕を行っていきます。